
+ たからもの +

市村鉄之助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

+ たからもの +

【コード】

N6399N

【作者名】

市村鉄之助

【あらすじ】

シリアスを詰め込んだつもりです。

主人公は『宝』。

(前書き)

苦手な人は逃げましょう。

「宝あ、どこー？」
いつもの、あの人の声。
もう、聞こえない。

時は平成のどっか。

どうでもいい。気にしないでくれ。

俺は、どっかの男子校の生徒。

あの人は、性を偽って、男子校にいた。

教室にも

図書室にも

グラウンドにも。

あの人は『いた』。

何があつたかも、何をしたかも、俺は知らない。

――あの人のいないところなんて。

俺は、高校を自主退した。

生徒会長で成績優秀だったので、校長がウザかった。

今までは『いい生徒会長』を演じていた、これが本当の俺ですと言
えば、引き下がった。

『いい人』なんているだろうか？

みんな、『何か』を演じているのではないか？

実際俺は、『いい生徒会長』を演じていたわけだし。

一人暮らしていいな、と思った。

…思う？思う…。

あの人がいっつも来ていた。

もう来てくれない。

…もう、会えない？

…会えない。

あの人って不思議だったなあ。

よく頭撫でてくれたし、手も繋いでくれた。

暖かった、優しかった。

…もっと、それを感じていたかった。

僕の、宝物。

たった一つだけの『』。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6399n/>

+ たからもの +

2010年10月9日20時13分発行